

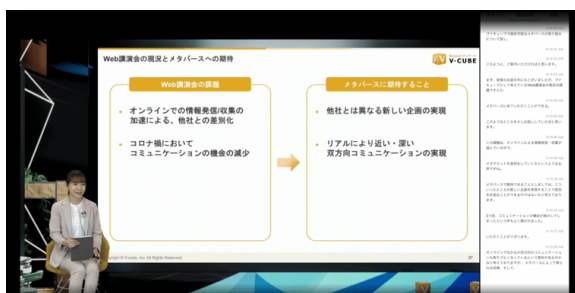
## 製品・サービス動向-国内

## ■ブイキューブ：法人向けライブ配信サービス「V-CUBE セミナー」に自然言語処理 AI の GPT を活用した「V-CUBE セミナー GPT」を提供開始

(3月27日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、法人向けライブ配信サービス「V-CUBE セミナー」に自然言語処理 AI の GPT を活用した「V-CUBE セミナー GPT」を2023年5月より提供開始する。

これまで、イベントやセミナーなどに途中参加した人が、講演者がそれまで話した内容を把握することができず、理解が深まらない、講演後にセミナー内容を議事録化し、要約、まとめるのは運営者にとって多くの時間と手間がかかるという課題があった。ブイキューブではこれらの課題を解決するため、V-CUBE セミナー GPT をリリースする。



V-CUBE セミナーGPT 画面イメージ (ブイキューブ)

法人向けライブ配信サービス V-CUBE セミナーに OpenAI が提供する「Whisper API」や「ChatGPT API」、イベント事前情報などを組み合わせ、自動かつリアルタイムで、セミナー講演内容の文字起こしによる「自動議事録」と「自動要約」作成機能を提供する。

また、OpenAI とデータ利用規約に関するデータプロセス契約を締結し、OpenAI の API を利用した際にお客様のデータが学習などに利用されないよう、お客様のデータの機密性を守るサービスを提供予定という。

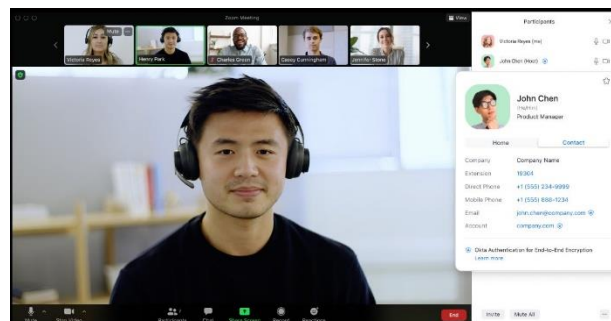
他にも OpenAI の提供する技術をブイキューブが提供するさまざまなソリューションに対応させることで、顧客イベントやセミナーで抱える課題解決に取り組んでいくとしている。

※ デモ 動画 視聴 URL : <https://japan-demo.gumuccloud.com/view/uOxpbBhk5gBalkSZJ6LhUM>

## ■Okta Japan：Zoom 会議参加者の本人確認を行う機能「Okta Authentication for End-to-End Encryption」を発表

(PRTIMES：3月28日)

Okta Japan 株式会社 (<https://www.okta.com/jp/>) (東京都渋谷区) は、エンドツーエンド暗号化 (E2EE) 機能を使った Zoom 会議において、Okta を活用して会議参加者の本人確認を行うことができる、Zoom 有料会員向け機能「Okta Authentication for End-to-End Encryption」を発表。



認証にゼロトラストアプローチを適用 (Okta Japan)

企業にとって Zoom は、従業員や顧客とつながるビ

ビデオ会議のデファクトソリューションとして、ますます重要な存在になってきている。そのため、Zoom 会議の主催者側は、ビデオ会議の内容によっては、会議参加者がなりすましではなく、確実に許可された本人が参加していることを確認したい場合がある。

そこで今回発表した Okta Authentication for End-to-End Encryption は、E2EE 機能を使った Zoom 会議において、Okta を活用して会議参加者のアイデンティティを電子メールで認証する機能となる。

Okta によるアイデンティティ認証と証明は、会議参加者が確実に本人であるかどうかを独自に判断するのに役立つとしている。Okta を活用して Zoom にゼロトラストアプローチを適用することで、IT セキュリティチームは、ユーザー体験を犠牲にすることなく、組織のセキュリティリスクを軽減することができるとしている。

Okta は、独立系アイデンティティ管理のリーディングカンパニー。安全なアクセス、認証、自動化を実現する。オープンかつベンダーニュートラルなプラットフォームであるため、顧客、パートナー、ISV は、Okta のアイデンティティソリューションを自社のアプリやテクノロジーに統合して開発することができる。Zoom とのコラボレーションでは、アイデンティティを同社の製品ポートフォリオに統合するためのビルディングブロックを提供した。これにより、Zoom の開発チームは、統合を構築するための作業を迅速かつ容易に行い、必要に応じて拡張できるようになった。つまり、アプリの認証モデルを一から構築する必要はないということになる。

## ■シュア・ジャパン：WEB 会議用音声デバイス「STEM ECOSYSTEM」が量販店・オンラインショップでも購入可能に

(3月17日)

シュア・ジャパン株式会社 (<https://www.shure.com/ja-JP>) (東京都港区) が 2021 年に国内販売を開始した WEB 会議用音声デバイス「STEM ECOSYSTEM」が、3月17日(午前0:00~)より、量販店・オンラインショップでも購入できるようになったと発表。



STEM ECOSYSTEM (シュア・ジャパン)

今回、量販店・オンラインショップで発売を開始する STEM ECOSYSTEM 製品は、天井設置型アレイマイクロホン「Stem Ceiling」、壁面設置用スピーカーホン「Stem Wall」、ネットワークスピーカー「Stem Speaker」、卓上用スピーカーホン「Stem Table」、専用タッチコントローラー「Stem Control」、コミュニケーションハブ「Stem Hub」の 6 製品で、会議室の広さやニーズに合わせて各機器を 1 台から 10 台まで自由に組み合わせることができる。

導入の工程でネックとなる收音範囲のシミュレーションや動作テスト、ワンクリックで実行される自動音響調整はブラウザで動作する専用のソフトウェアツールで行う。IT 担当者は、これまで会議室の WEB 会議音声品質向上の障害となっていた導入の複雑さから解放され、「会議室のオーディオ環境を整えたい」「作業をできるだけ社内リソースで完結したい」「施

工工事を最小限に」、「なるべくコストは抑えたい」といった課題に対して最適なソリューションという。

【取り扱い製品一覧】

製品名称	市場参考価格（税込）	販売開始
Stem Table (テーブルアレイ・スピーカーホン)	¥116,600	2023年3月17日(金)
Stem Wall (ウォールマウント・アレイスピーカーホン)	¥220,000	
Stem Ceiling (シーリング・マイクロホンアレイ)	¥453,200	
Stem Table (テーブルアレイ・スピーカーホン)	¥107,800	
Stem Hub (コミュニケーション・ハブ)	¥72,600	
Stem Control (エコシステム・タッチ・コントローラー)	¥220,000	

取扱製品一覧 (シュア・ジャパン)

取り扱いの量販店・オンラインショップは、アマゾン、SOUND HOUSE、ビックカメラ、楽天市場、ヨドバシカメラとなっている。

## ビジネス動向-国内

### ■ヤマハ：Yealink 社との遠隔会議向け機器における技術連携を開始

(3月27日)

ヤマハ株式会社

([https://jp.yamaha.com/products/proaudio/unified\\_communications/index.html](https://jp.yamaha.com/products/proaudio/unified_communications/index.html)) (静岡県浜松市) は、同社のコミュニケーション機器事業において、Yealink 社 (<https://www.yealink.com/en>) (中国福建省) との技術連携を行うと発表。

今回の技術連携により、ヤマハ遠隔会議用ワンストップサウンドソリューション「ADECIA」を構成する、シーリングアレイマイクロフォン「RM-CG」とテーブルトップアレイマイクロフォン「RM-TT」の2モデルは、Yealink 社がマイクロソフト社の提供するコラボレーションプラットフォーム「Microsoft Teams」向けに提供しているソリューション「Microsoft Teams Room Solution」内での動作を保証される。Yealink 社のインテリジェントカメラやタッチパネルと組み合わせることで、大小さまざまな部屋における遠隔会議での良質なオーディオ体験を実現し、チームワークの醸成や生産性向上につなげるとしている。

る。

### ■バイキューブ：ポケットークとイベントソリューション分野で協業、AI を使い、イベントに関わる言葉の壁を取り除く

(3月15日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) とポケットーク株式会社 (<https://pocketalk.co.jp/>) (東京都港区) は、バイキューブが提供するイベント DX ソリューションとポケットークが提供する AI 通訳機「ポケットーク」を組み合わせた新たなイベントソリューション提供の分野で協業する。



#### 翻訳イメージ (バイキューブ)

バイキューブが提供するイベント DX サービスに、ポケットークが提供する多言語での会議を AI 技術によって簡単に翻訳・通訳することができるビジネスシーンに特化したシリーズ「ポケットーク for BUSINESS」を組み合わせることで、主催者は通訳者の手配やオペレーションを気にすることなく、誰でも多言語でのイベント開催が可能になるという。なお、ポケットーク for BUSINESS シリーズにおいては、音声からテキストに変換する「音声認識エンジン」に OpenAI 社が提供する音声認識モデル「Whisper」が採用されているという。

両社が持つ強みを活かすことで、イベントにおける言葉の壁を取り除き、主催者と参加者両方にある課題の解決に取り組むとしている。今後も、体系的な連携の強化や、さまざまな分野でのソリューション開発を共同で行うとしている。

## ■NTT ビズリンク：現場最前線とオフィスをつなぐ“映像コミュニケーションソリューション「スマートグラスクラウド」、国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）に登録

（3月29日）

NTT ビズリンク株式会社（<https://www.nttbiz.com/>）（東京都文京区）は、さまざまな業種・利用シーンにおいて遠隔からの現場作業支援に利用できる「スマートグラスクラウド」を国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）に登録した。

NETIS は、国土交通省が新技术活用のため、新技术に関わる情報の共有および提供を目的として整備したデータベースシステム（<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS/PubEntrance/PubEntrance>）

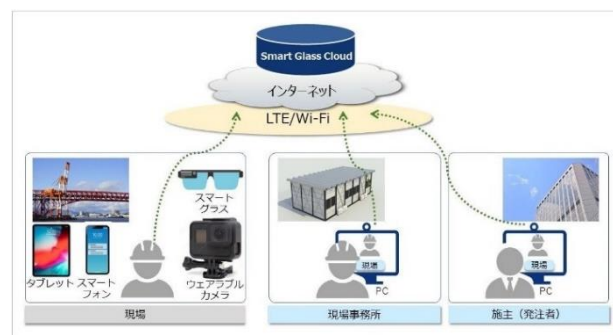
。（NETIS 登録日 2月22日、NETIS 番号：KT-220220-A、技術名称：スマートグラスクラウド）

公共工事の建設現場における、「段階確認」「材料確認」と「立会」を必要とする作業に、遠隔臨場の試行が開始されている。遠隔臨場とは、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラなど）と Web 会議システム等位を利用して「段階確認」「材料確認」と「立会」を行うことを指す。

遠隔臨場は、受発注者の作業効率化を図るとともに、契約の適正な履行として施工履歴を管理するために推進されている。このような遠隔臨場などが実現できる新技术を NETIS に登録を行い、公開することで、さらなる新技术の活用促進を行うことが求められているという。

NETIS に登録されたスマートグラスクラウドは、公共工事の建設現場において、遠隔臨場をスムーズに実現する映像コミュニケーションシステム。同時に複数

の現場の遠隔臨場を実現する。加えて、円滑な遠隔臨場に不可欠な通信環境の改善についても、現地調査や 5G ネットワークとの組み合わせによる提案を行っているという。



スマートグラスクラウドイメージ（NTT ビズリンク）

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■【日本 HP 主催オンラインセミナー】HP Partner First TV 第 66 回 Web 会議の音声・映像課題をこれで解決！生産性向上提案の切り札はこれだ！

日時：4月13日（木）15:00～

会場：オンライン

主催：株式会社日本 HP

詳細・申込：

[https://hp.zoom.us/webinar/register/WN\\_He35Qr4rQ-qTbh6C2WM6Zw?t=1680162305896](https://hp.zoom.us/webinar/register/WN_He35Qr4rQ-qTbh6C2WM6Zw?t=1680162305896)

#### ■ブイキューブセミナー情報（4月）

「Amazon IVS や Agora で始める [ライブ配信アプリ開発]勉強会」「ファンはどうすれば「沼落ち」する?」「ありきたりなウェビナー飽きてへん?最先端 3D 合成 スタジオ体験ツアー」など

会場：オンライン/オンデマンド、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)

#### ■Webex Meetings 関連ウェビナー (4月)

「【利用者向け】今月のWebexアップデート活用方法(43.4)」など

会場: オンライン/オンデマンド

主催: シスコシステムズ合同会社

詳細・申込: [https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

国内その他: <https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。  
CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

### 業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事のみ)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

#### ■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

#### ■Twitter (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://twitter.com/cnarjapan>

#### ■メーリングリスト (dte-forum)

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

### 定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー (1999 年~最新号) は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

### CNAレポート・ジャパン 2023年3月31日号おわり